

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171600226		
法人名	社会福祉法人 歌垣福祉会		
事業所名	グループホームうたがきの里		
所在地	佐賀県杵島郡白石町大字築切264番地1		
自己評価作成日	平成24年2月8日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html">http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成24年2月22日	外部評価確定日	平成24年4月4日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>周りを田園に囲まれた自然環境のもと、近くには小学校・保育園があり、子供たちの声を聞きながら毎日を過ごしています。散歩やウッドデッキ・玄関先での外気浴を楽しみ、ゆっくりとした雰囲気の中、笑顔や笑い声が飛び交い、家庭的な温かみをモットーに真心で支援しています。また、レクリエーションも楽しみの一つです。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>田園地域に立地するホームは、近隣に昔ながらの商店が多く、生活の場としてよい環境に恵まれている。商店等の協力を得ながら、住み慣れた地域で暮らすことを支援しており、地域密着型としての目的や役割を意識した運営が窺える。ウッドデッキを活用し、外出が困難な方にも慣れ親しんだ自然の四季を肌で感じてもらったり、入居者へのやさしい言葉やまなざしに職員の温かさが感じられた。毎日のリハビリ活動もホームの特色であり、機能の低下防止と入居者のイキイキとした笑顔が職員のやりがいに繋がっている。</p>
---

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価/ユニットA( )	自己評価/ユニットB( )	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念を掲げ朝礼時に唱和し、実践に繋げている。	毎朝の朝礼で理念の唱和を行い共有し、理念に沿った介護の実践に努めている。	法人の理念を基本とし、グループホーム独自でも介護理念を作り、毎日唱和、共有しながら実践に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	広報誌や回覧板等を配ってもらい地元消防団や地元住民の方の協力を得て防災訓練をしている。 また、近隣の店を利用し交流を深めている。	地域の回覧板をまわしてもらったり、クリーンデーの参加、地元消防団の協力を得て避難訓練、町民運動会への参加等、また、近所の方の訪問を受けたりしている。	地域の自治会に入り、区役として地区の草取りや溝掃除等の清掃作業に出て、一住民としての役割を担っている。 町民運動会に参加したり、近隣の小学校や保育園との交流もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	消防団、地域住民の協力を得て訓練時等に支援の方法を話している。	消防団との訓練の時などに支援の方法をお話ししたり、受診介助の時などに待合室で地域の方に理解していただく事もある。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	状況の報告や勉強会の内容の報告等を行い、率直な意見をいただき、サービスの向上に活かしている。	現状報告をし、GHの事を少しでも多く知っていただいた上で、意見を言ってもらい、サービス向上に繋げるよう取り組んでいる。	運営推進会議は、行政、民生委員や地区の代表の方、入居者家族等に出席頂き、ホームの理解を得るため入居状況や行事報告等を行い、意見をサービスに活かせるよう努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進委員会に役場より出席頂いたり、その他の機会にも役場の方と事業所の実情や取り組み等を伝え、相談して協力を得ている。	運営推進委員会への参加を依頼し、毎回協力いただいている。	市町村担当者には空き状況やホームの現状を伝えてたり、地域連携協議会にも出席し、協力関係を築くための意見交換をしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月の委員会で話し合い理解を深め、センサーマット等環境を整えて支援に取り組んでいる。	身体拘束をしないケアを実践している。	身体拘束廃止のための研修に参加したり、廃止の為に委員会を開催し、拘束はしない介護に努めている。ケアを工夫することで、転倒予防をしたり、玄関の鍵をかけずに自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の委員会で話し合い理解を深め、内部研修の取り組みも行っている。	肉体的・精神的虐待がないよう注意を払っているが、言葉使いにハツとする時があった。 職員会議の時、再度注意を促し合い徹底に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会があったが、活用する機会はなかった。	学習の機会があったが、活用支援までには至っていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には十分な説明を行い、又、入所してからわからない事が出て来た場合、説明を行ってきた。	十分な説明を行うよう心掛けている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	直接言ってもらったり、意見箱を設けて意見や要望に答えているが、利用はされていない。又、第三者委員会を提示し、明記している。又、介護相談員の方が定期的に来られている。	玄関に意見箱を設置し家族の意見や苦情等を寄せられるようにしているが、利用はされていない。	家族をホームの行事に招待するなどして、意見を聞いている。入居者の状況を理解頂き、一緒にケアのあり方を考えるなど、運営やケアに反映させる機会がある。介護相談員により入居者の意見を聞くことも参考になっている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議で話し合い、職員の意見も聞き、反映させている。	月1回の職員会議や日常業務時に意見を聞き、実行できるものは実行している。	職員会議は、自由に意見を言いやすい環境である。入居者個別のケアのあり方を提案、検討したり、行事や業務についても、全職員で検討し、支援に活かせるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	チャレンジシートや報告等により把握に努め、目標を持って仕事が出来る様になっている。	人事考課を実施している。 育児休業が取得しやすいよう職員の体制を整備している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種研修会(外部研修)に積極的に参加させている。内部研修(全体研修)及び資格取得の為、研修を実施している。	各種研修会(外部研修)に積極的に参加させている。 内部研修(全体研修)及び資格取得の為の研修を実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修会時の交流やグループホーム地域連携で会議を行い、情報交換や相談をして交流を行っている。	外部研修会時の交流やグループホーム地域連携で会議を行い情報交換や相談をして交流を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( )	自己評価／ユニットB( )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に面会に行ったり、ホーム見学に来てもらい会話を少しでも慣れてもらえるように努めている。	コミュニケーションに努め、生活歴を良く知った上で本人の安心を得る対応に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所にアセスメントを行い家族とも十分に話しをしている。又、面会時には家族に状況報告を行っている。	家族の要望等によりしっかり耳を傾け共に利用者の為になる関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まず、本人の声を聞き家族の希望と合わせ必要な支援を見極めるよう努めている。	入所を希望された時点で、どのような支援を必要とされているのか見極めをしっかりとるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中で出来る役割を持って頂き、共に作業をしたり、一緒に食事をしたりと互いに支え暮らしをいけるよう努めている。	掃除や洗濯物量を手伝ってもらったり、花や野菜の植え方を尋ねたり、漬物作りを教えてもらったりしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	病院受診や外出支援など家族の協力を得たり、面会時には状況報告をし、何かあったらその都度、連絡を取って協力を得ている。	病院受診や外出支援など家族に協力を依頼したり、報告等の会話をしっかりとる事で共に支える関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	正月やお盆の親類の集まりにはお迎えをお願いしたり、兄弟寄り等の外出支援や面会について気軽にさせて頂けるようお願いしている。	正月やお盆の親類の集まりにはお迎えをお願いしたり、お寺や神社、馴染みの店等への希望があれば同行したりと支援に努めている。	入居前の行きつけの店への買い物や美容院へ出かける希望があり、職員と家族が協力して支援している。他にも近所の方、友人など訪問されており、職員は気軽に来ていただける環境づくりに努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合った仲間と安心して関わり合えるよう、良い関係が保てるよう支援している。	性格等も考慮した上で気の合った仲間と安心して関わり合えるような支援に努めている。また、皆さんと一緒に楽しめるような関わり、レクリエーションの提供にも努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も情報提供したり、家族に会った時などは挨拶を交わす程度である。	相談を受けたり支援してい訳ではないが、以前の利用者の家族の方が今でも時々ホームに寄ってくださり、関係が継続している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションを取り、本人の気持ちを引き出している。 困難な場合は、ニーズを検討している。	本人の希望を大切に支援を心掛けている。表出しない方も傾聴する事で思いを引き出すよう努めている。	ちょっとした時間でも一対一での会話が大切と考えており、気付きを活かしたケアに取り組んでいる。家族との会話や本人の希望など職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族からアセスメントを取り、前事業所の情報提供も参考にし、把握に努めている。	入所される前に個人の情報提供書に目を通し、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日誌や健康管理表、ケアチェック表等、毎日記録し目を通し現状の把握に努めている。	一人ひとり個人の記録を作成し、気付き等も話し合う事で、現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	常にスタッフ間で意識付けをし利用者の変化異常等を敏感に観察し、気付き等を日誌に記録し、ケアを工夫し介護計画を作成している。	介護職員間で度々話し合いの機会を持ち、より良い介護の方法を検討、家族様にも意見を求めるが、発言はあまりない。	毎日のケアの中で、気付きを介護日誌に記録し、職員が共有し介護計画に活かしている。面会時には家族から意見や希望を伺っている。定期的に評価がされ、毎月の会議で検討し次の計画に繋げている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気付き等情報の共有に努めケアに役立てる様に努めている。	日々の様子やケアの実践等、個別に記録し、交換日誌やミーティングでの職員間での意見交換で情報を共有しながら実践や介護計画見直しに繋げている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況変化に応じて、サービス提供も柔軟に対応しているが、まだ検討の余地のあるものもある。	言語リハビリの必要な方がおられ専門的には無理だが、皆さんと一緒にしたり出来る時は個人的に出来る限り対応するなど状況に合わせ柔軟に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元消防団との避難訓練、知人の訪問、踊り等のボランティア受け入れ、地元での買い物、運動会参加等している。	地元消防団との避難訓練、知人の訪問、踊り等のボランティア受け入れ、地元での買い物、運動会参加等している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	納得のいくかかりつけ医を選択されており、近隣の医院には介助もしている。また、適切な医療を受け入れられるよう情報提供も行っている。	納得のいくかかりつけ医を選択されており、近隣の医院には介助もしている。また、適切な医療を受け入れられるよう情報提供も行っている。	本人や家族が希望されるかかりつけ医への受診を支援している。隣接する病院の協力も大きな支えとなっている。緊急の場合や家族が無理な場合は職員が付き添い、情報提供にも努めている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員と看護職員との連絡を密にし、相談もし、利用者の適切な受診や対応を心掛けている。	介護職員と看護職員との連絡を密にし、相談もし、利用者の適切な受診や対応を心掛けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	包括支援センターソーシャルワーカーと連絡を取り、また、入院中に数回面会に行き、情報交換し関係作りを行っている。	包括支援センターソーシャルワーカーと連絡を取り、また、入院中に数回面会に行き、情報交換し関係作りを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族に現状報告を密にし、グループホームで出来る事出来ない事を説明し、現状は夜間の医療対応が出来ない為、重度化された場合は、病院に入院して頂いている。	家族に現状報告を密にし、グループホームで出来る事出来ない事を説明し、現状は夜間の医療対応が出来ない為、重度化された場合は、病院に入院して頂いている。	現在、重度化や終末期に向けた対応はできていないが、入居時にホームでできること、できないことをはっきりと説明し、段階的に家族と医療との連携をとることの意思を確認している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDの講習会、事故発生時のマニュアル作成等行っているが、まだまだ、緊張は大きく不十分だと思う。	AEDの講習会、事故発生時のマニュアル作成等行っているが、まだまだ、緊張は大きく不十分だと思う。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練は年2回、地元消防団、地域住民の協力を得て実施している。うち1回は夜間を想定した訓練を実施している。	防災訓練は年2回、地元消防団、地域住民の協力を得て実施している。うち1回は夜間を想定した訓練を実施している。	避難訓練時には、近隣の菓子店や魚屋等の商店経営主が協力委員となり、地元消防団の協力を得ながら、定期的な訓練を実施している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊重に心掛けプライバシーを損ねないよう努めているが、たまに出来ない事もある。	人格尊重を心掛けているものの思いよぬ急な行動をする方がおられ、適切な対応が出来ず苦慮している。	県の認知症介護研修に参加している。ホームでも尊厳あるケアについての勉強会を開催し、理念である「人権を尊重するケア」を実践できるよう努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望を言ってもらったり、職員から問い掛けて自己決定してもらってる。	本人の思いや希望を言ってもらったり、職員から問い掛けて自己決定してもらってる。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大事にして希望にそように心掛けているが、全体を優先した支援になってしまう事もある。	一人ひとりのペースを大事にして希望にそように心掛けているが、全体を優先した支援になってしまう事もある。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容を利用し、さっぱりしてもらったり自由に好みの服や髪留めを使われている。	家族の協力を得て、パーマをかけられている方もありますが、殆ど訪問理容を利用されている。 服はその人らしさを大切にしている。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る事はやって頂き、食事形態も変え嗜好も考慮しながら職員も一緒にテーブルを楽しんでいる。	出来る事はやって頂き、食事形態も変え嗜好も考慮しながら職員も一緒にテーブルを楽しんでいる。	入居者に希望されるメニューを聞き、献立に反映させている。近所のスーパーへ一緒に買い物に行き、下ごしらえを手伝っていただいている。職員も同じテーブルで食べながらさりげなく支援している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスの取れたメニューを作成し、なるべく摂取していただくよう形態も個々で変えている。夜間も水分が取れるよう居室に準備している。	バランスの取れたメニューを作成し、なるべく摂取していただくよう形態も個々で変えている。夜間も水分が取れるよう居室に準備している。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアも自分ではしようとされなかったり、付き添いの必要な方が多いが、各々対応。また、週に1～2回ローテーションで義歯洗浄も行っている。	口腔ケアも自分ではしようとされなかったり、付き添いの必要な方が多いが、各々対応。また、週に1～2回ローテーションで義歯洗浄も行っている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( )	自己評価／ユニットB( )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	早目の排泄声掛けや排泄パターンの把握等を行っているが、現状維持にとどまっている。	声掛け、付き添いで紙パンツやパット使用の方であってもトイレで排泄がえられるよう、早目の誘導を心掛け布パンツ使用になられた方もある。	排泄パターンを把握し、個別に早めの誘導をすることで、トイレでの排泄に繋がっている。夜間もオムツを使用せず、ポータブルトイレで自立に向けての支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食品を取り入れたり、個人でバナナを提供し、コントロールが上手いった方等、服薬と食物で上手く取り組んでいる。	芋やヨーグルト等を提供したり歩け歩きの歩行運動をしたりと予防に努め、排泄チェックをして薬の調整もしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決めている。 昼間の入浴ではあるが、一日をかけて希望にそってゆっくり入浴してもらっている。	曜日は決まっているが、入浴時間等は個人の希望に合わせてゆっくと楽しんで入ってもらっている。	入浴は基本は隔日としているが、2ユニットで交互に入るようにしており、希望があれば毎日でも入ることができる。時間帯の希望を聞きゆっくり入ってもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望に沿って、自由に居室で休んだりされている。又、空調にも気をつけて環境も整えている。	最近は、朝起きの苦々な方が増えたが、ゆっくり休んでもらっている。不眠で薬の希望のある方には医師の指導のもと服薬介助をしている。 昼間ウトウトされている方には、様子を見て午睡の声掛けをしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋やDrからの説明を報連相ノートで連絡し、服薬支援、状態観察に努め、また、Drにも変化の報告をしている。	処方箋やDrからの説明を報連相ノートで連絡し、服薬支援、状態観察に努め、また、Drにも変化の報告をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	軽作業(台拭き、洗濯畳み)やかぎ針縫やパズル等自由に余暇活動を楽しませている。	出来る事の把握に努め、手伝いの喜びや楽しみ事の提供、気分転換の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族の協力で兄弟寄りを定期的にされたり、ホームでもドライブや買い物に時々出掛けている。	天候や体力を考慮、遠くまでは行けない方もホームの周辺とか、お地藏様までとか買い物付き添いなど気分転換も含めて対応している。	ホームの行事として、ドライブや買い物に出かける他、近所の猫や犬に会いに行ったり、お地藏様へお参りに行く等の散歩も、体力に応じて支援している。自宅への帰省は家族の協力により実施されている。	



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( )	自己評価／ユニットB( )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	持っていて安心される方は少し所持されているが、家族より預かって希望があれば、使える事を話している。近所の店に嗜好品を買いに行ったり、ひ孫さんへプレゼントを購入されたりしている。	今のところ自分で物を選んだり、出来る方は一人だが、その方には買い物支援もしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望される方には取り次ぎ、年賀状や残暑見舞いなど自筆を添えて、殆どの方が出されるよう支援した。	自ら電話をかける方やかかってくる方は、今はいらつしやらない。職員に電話をかける事を頼まれれば都度対応。手紙は暑中見舞いや年賀状を半紙に書いてもらい、縮小して貼って出した。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾り、西日を防ぐ為、ゴウヤ、アサガオ等エコカーテンで採光を削減して過ごせるようにした。	カーテンの開閉、室温等に注意し壁飾りも一年の流れを感じられるような工夫をし、季節の花を飾ったりしている。	木のぬくもりが感じられるホームは、家具やキッチンのはつらえも家庭的で明るい。ウッドデッキへ自由に行くことが出来、いつも四季の移ろいが感じられる。畳の間に冬は炬燵も設置され暖かさがあがる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席、ソファ、畳の間とあり思い思いに過してもらっている。又、ウッドデッキ、玄関に椅子を並べて外気浴をして楽しんでもらっている。	最近、不自由になって畳の間に座る方が減ってしまわれたが、ソファで3人掛け4人掛けで座って話されたり、レクに参加されたり自室でマイペースに過ごされたりしている。また、玄関やウッドデッキに椅子を並べての外気浴は喜ばれる。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた寝具を持って来られたり、ご主人や孫、ひ孫さんの写真を飾ったり、花を飾ったりされている。	使い慣れた枕を持ち込まれている方、思い出の写真やプレゼントを飾っている方、ぬいぐるみや人形をベッドに置いておられる方等、各自居心地良く過ごせるよう工夫している。	使い慣れた家具や寝具を自由に持ち込んでいただくように支援している。家族の写真や自分の作品を飾ったり、花を生ける等、思いおもいに個性ある居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりをつけ、目線にあった所にも名札をかけたトイレの場所が遠くからも分かり易くし、洗面所に椅子を置いたり出来る限り自分で出来るよう工夫している。	洗剤や石鹸等、危険な物は目につかない場所へ収納、スイッチやコンセントなどには近くに使い方や危険である事の貼り紙、トイレなど場所がわかるよう貼り紙や目印をしている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)			1. ほぼ全ての利用者の
		○	○	2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)		○	1. 毎日ある
		○		2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○		1. ほぼ全ての利用者が
			○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
		○	○	3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)			1. 大いに増えている
		○	○	2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。			1. ほぼ全ての家族等が
		○	○	2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない